

Workgroup 製品のライセンスキー登録システムご使用方法

もくじ

1. [ライセンスキー登録について](#)
2. [製品のインストール時にライセンスキー登録を行う方法](#)
3. [製品インストール後にライセンスキー登録を行う方法](#)
 - 3-1 [製品を立ち上げてライセンスキー登録を行う方法](#)
 - 3-2 [「CALIC」ディレクトリからライセンスキー登録を行う方法](#)
 - 3-3 [ライセンス登録先について](#)
 - 3-4 [ArcserveBackup r16 VM Agent Per Host License の登録先について](#)
 - 3-5 [下位互換製品のライセンス登録方法](#)
4. [ライセンスキー登録済製品の確認](#)
 - 4-1 [登録済みの製品・ライセンス数を確認する方法](#)
 - 4-2 [登録済製品のライセンスキー、顧客登録の有無を確認する方法](#)
5. [ライセンスの管理画面について](#)
 - 5-1 [ライセンス管理画面の説明](#)
 - 5-2 [ライセンスの解放について](#)
6. [顧客登録](#)

本ドキュメントの対象製品

Arcserve Backup r16

以前のリリース・その他のワークグループ製品のライセンス登録方法につきましては[こちら](#)をご確認ください。

※スクリーンショット中に旧リリースの表記がございますが、ご利用のバージョンに読み替えて進めていただきますようお願いいたします。

1. ライセンスキー登録について

正規登録製品としてご使用いただくには、ライセンスキーの登録が必要です。

ライセンスキー登録を行わない場合、製品のインストール後 31 日を経過すると動作が停止します。

詳しくは、CD スリーブに同梱されております、注意書きをご確認ください。

※本製品のライセンスキーおよびパッケージは、紛失されても再発行できません。

大切に保管してください。

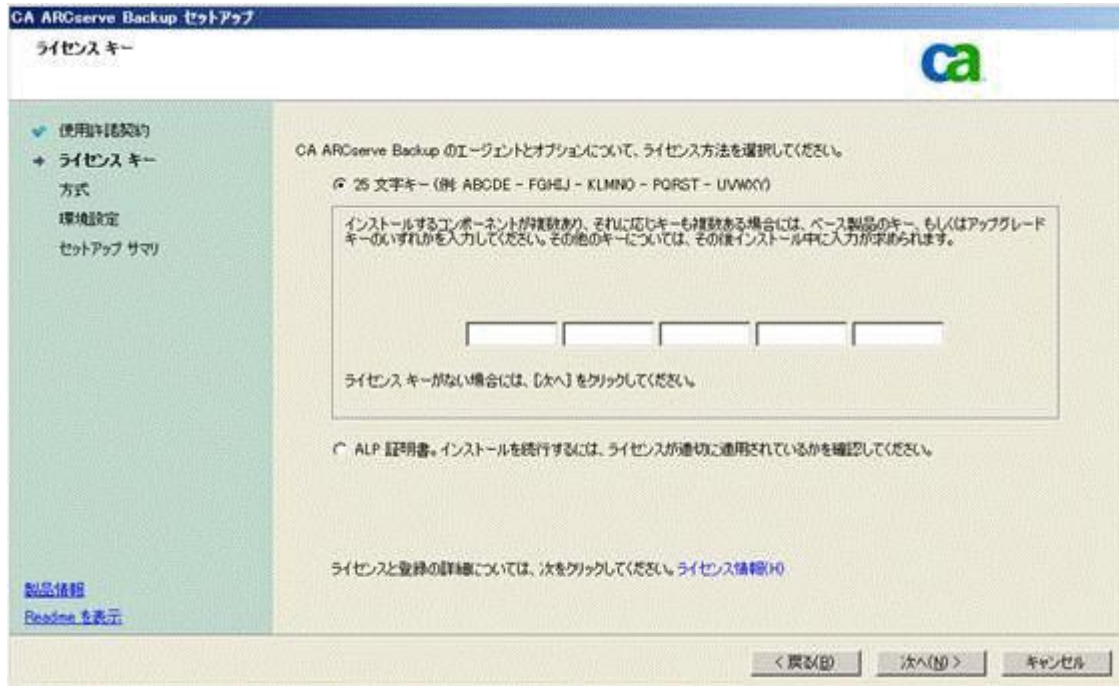
2. 製品のインストール時にライセンスキー登録を行う方法

製品のインストール途中で、[製品のライセンスと登録]が表示されます。

(1) 25 文字キーにチェックを入れ、[次へ]をクリックします。

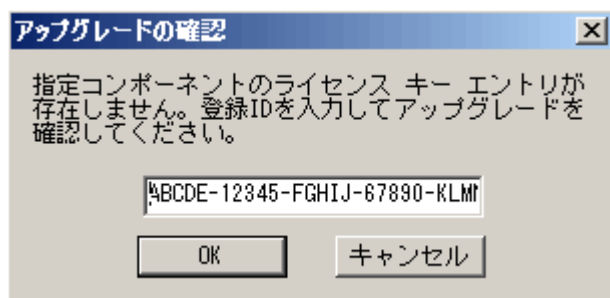
(2) [ライセンスキーの入力]画面が表示され、テキストボックス内にライセンスキーを入力します。

※トライアル版としてご使用の場合は、空欄のままにしてください。



※アップグレードライセンスの場合、旧バージョンキーを求められる場合がございます。

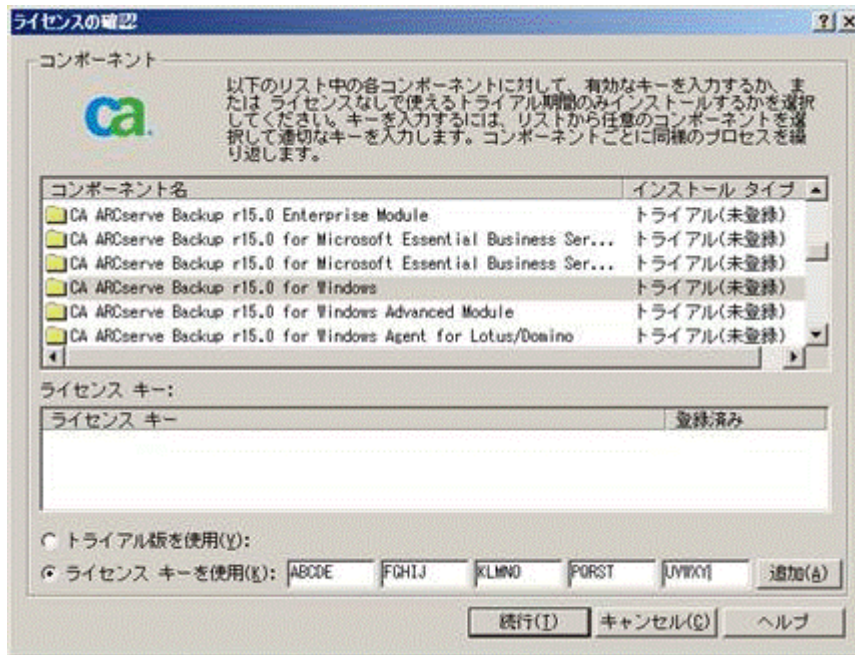
お持ちの旧リリースのライセンスキーをハイフンを含めてご入力ください。



なお、アップグレードライセンスの場合は、上記画面ではアップグレードのチェックのみが行われ、ライセンス登録は未完了となっておりますので、(4)の登録画面で再度ライセンスキーをご登録頂く必要がございます。

(3) [次へ] ボタンをクリックします。

(4) インストールプロセスが進み、[ライセンスの確認]が表示されます。



(5) ライセンスキー登録をするコンポーネント名をクリックします。

※ コンポーネント名が表示されていない製品は、インストール後に以下項目の手順にてライセンスを登録する必要があります。

3-2 「CA_LIC」ディレクトリからライセンスキー登録を行う方法

※ 下位互換製品をご登録の場合、コンポーネント一覧に表示されません。以下をご参照ください。

3-5 下位互換製品のライセンス登録方法

(6) [ライセンスキーを使用] をクリックして、テキストボックス内にライセンスキーを入力します。

※ライセンスキー入力時に、タブキーやバックスペースキーなどを使用すると、ライセンスキー登録が失敗することがありますので、一字ずつ丁寧に入力してください。

(7) [追加] ボタンをクリックします。

(8) 他の製品も登録する場合は、(5)～(7)を繰り返してください。

※トライアル版としてご使用の場合は[トライアルを使用]にチェックしたまま、(4)[続行]ボタンをクリックします。

[登録済み製品の確認はこちら](#)

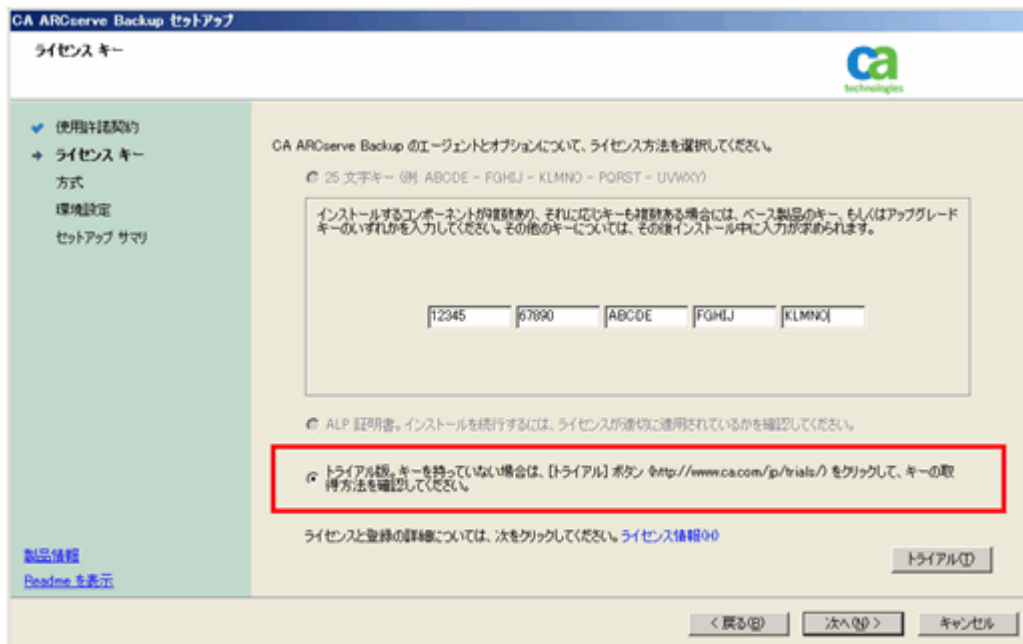
トライアル注意事項

本製品のトライアル利用時に、キーの入力は不要です。

一部トライアルをダウンロード頂いたお客様で、インストール時に以下の画面が表示され空欄のままではエラーダイアログが表示される場合、トライアルお申し込み時のメールアドレスに送付させていただいております、トライアルキーを入力する必要があります。

上記メールをお持ちでない場合は弊社ライセンスデスクまでお問い合わせください。

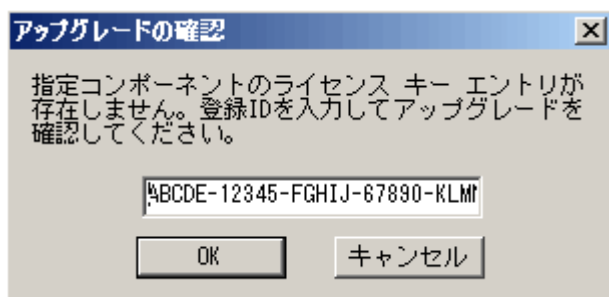
※下記画面にある赤枠のトライアル版表記がない場合、キーの入力は不要で30日間のトライアル利用が可能です。



アップグレード製品をお持ちの場合

アップグレードパッケージに同梱されているライセンスキーを入力の際、前バージョンのライセンスキーの入力を求められる場合があります。

下記画面が表示された場合、旧バージョンのライセンスキーを入力してください。

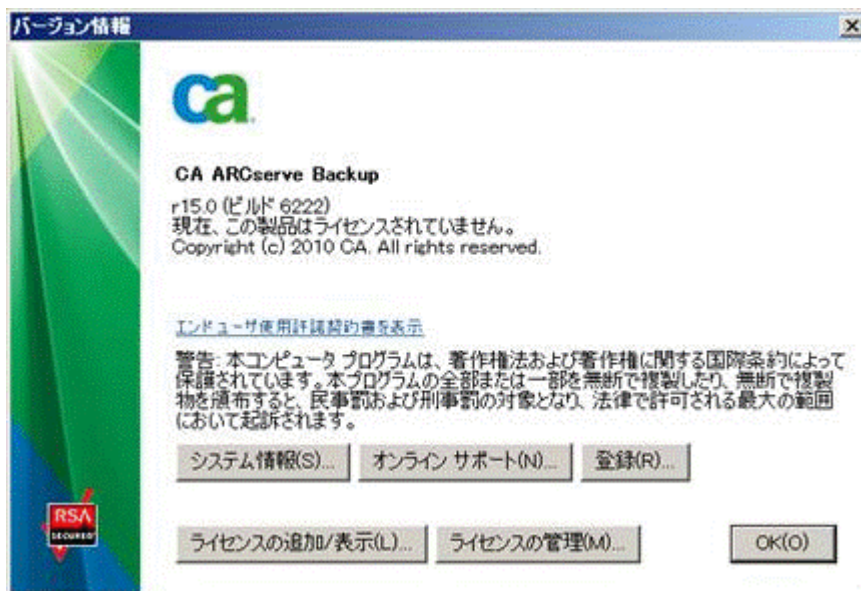


3. 製品インストール後にライセンスキー登録を行う方法

次の2つの方法で、ライセンスキーの登録を後から行うことができます。

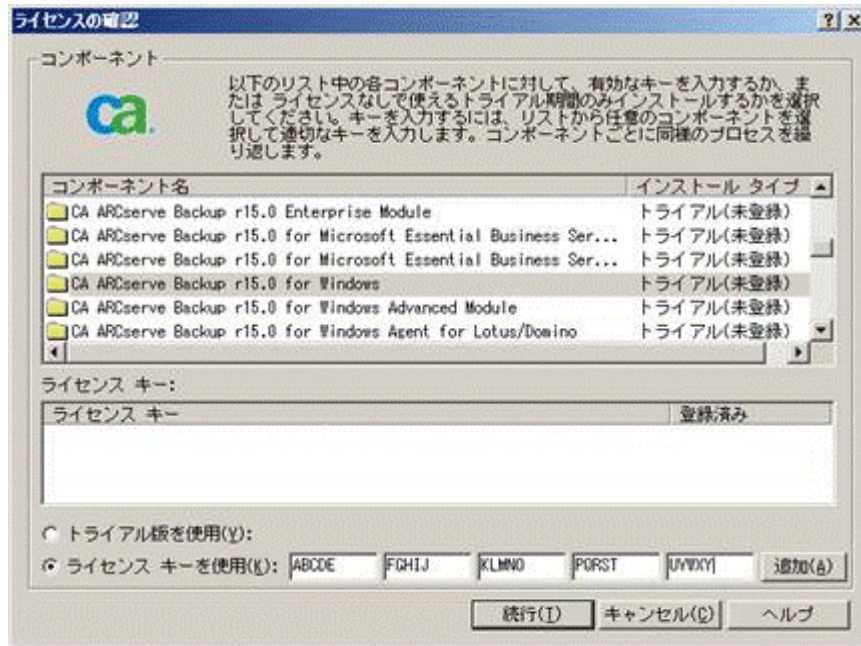
3-1 製品を立ち上げてライセンスキー登録を行う方法

ライセンスの登録を行う製品を実行し、そのヘルプメニューから[バージョン情報]を選択し、[ライセンスの追加/表示]ボタンをクリックします。



[ライセンスの確認画面]

- (1) ライセンスキー登録をするコンポーネント名をクリックします。
- (2) [ライセンスキーを使用] をクリックして、テキストボックス内にライセンスキーを入力します。
- (3) [追加] ボタンをクリックします。
他の製品も登録する場合は、(1)~(3)を繰り返してください。
- (4) ご使用製品のライセンスキーの入力を終了後「続行」ボタンをクリックします。



3-2 「CA_LIC ディレクトリ」からライセンスキー登録を行う方法

「CA_LIC ディレクトリ」にあるプログラム「CALicnse.exe」を実行し[ライセンス確認エントリ] 画面からライセンスキーを入力し、[追加]ボタンをクリックします。

※「CA_LIC ディレクトリ」は通常下記のパスに存在します。

<%SystemDrive%\Program Files\CA\SharedComponents\CA_LIC>

64bitOS の場合

<%SystemDrive%\Program Files (x86)\CA\SharedComponents\CA_LIC>



3-3 ライセンス登録先について

Arcserve Backup r15 からは すべての Agent/Option 製品はバックアップサーバーでの登録に統一されました。お持ちのライセンスはバックアップサーバにてご登録ください。

※Arcserve Backup r12.5 では、Agent for Open Files / Agent for Lotus Domino はバックアップ対象サーバに登録する必要がありました。

旧リリースのライセンス登録先については以下より該当リリースの登録方法をご参照ください。

<<http://www.arcserve.com/jp/lpg/licensing.aspx>>

3-4 Arcserve Backup r16 VM Agent Per Host License の登録先について

本製品はライセンスの追加と表示画面ではコンポーネント名が表示されません。

Arcserve Backup r16 Guest Based Virtual Machines Agent Bundle にご登録ください。

上記製品を複数お持ちの場合は、注意事項がございますので登録前にご参照頂きますようお願い申し上げます。

<<http://arcserve.com/jp/wp-content/uploads/2017/04/lic-080030001-jp.pdf>>

3-5 下位互換製品のライセンス登録方法

下位互換製品をご登録の場合、コンポーネント一覧に表示されません。

ご登録方法につきましては、以下技術文書をご参照ください。

[Arcserve Backup 下位互換製品のライセンス登録方法](#)

4. ライセンスキー登録済製品の確認

4-1 登録済みの製品・ライセンス数を確認する方法

「[CA_LIC ディレクトリ](#)」にあるプログラム「CALicnse.exe」を実行し[ライセンス確認エントリ]画面から以下の項目を確認することができます。

- (1) ライセンスキー登録済みの製品名を確認することができます。
- (2) 登録済みのライセンス数を確認することができます。
- (3) ライセンスキー登録において、RegisterIT8.x を使用する製品のライセンスキーを登録している場合ライセンスキー登録システムが異なる為この画面では、「不明のコンポーネント」として表示されます。



4-2 登録済製品のライセンスキー、顧客登録の有無を確認する方法

ライセンスの登録を行う製品を実行し、そのヘルプメニューから[バージョン情報]を選択し、[ライセンスの追加/表示]ボタンをクリックし、[ライセンスの確認]画面から以下の項目を確認することができます。


- (1) コンポーネント名をクリックします。
- (2) 製品版のライセンスキーを登録している場合、[インストールタイプ]に「フル」もしくは「ライセンス取得済み」と表示されます。
- (3) (1)で選択したコンポーネントに対する登録済みのライセンスキーが表示されます。
- (4) 顧客登録を行っている場合、登録済みの項目に「はい」と表示されます。

こちらはライセンスキー登録の有無には関連していませんので、「いいえ」となっても製品のご使用に影響はご

ません。(お客様任意での登録となります。)

ライセンスの確認 [?] [X]

コンポーネント



以下のリスト中の各コンポーネントに対して、有効なキーを入力するか、またはライセンスなしで使えるトライアル期間のみインストールするかを選択してください。キーを入力するには、リストから任意のコンポーネントを選択して適切なキーを入力します。コンポーネントごとに同様のプロセスを繰り返します。

コンポーネント名	インストール タイプ
CA ARCserve r12.0 for Windows Agent for Microsoft Exchange	トライアル(未登録)
CA ARCserve r12.0 for Windows Agent for Microsoft SQL Server	フル
CA ARCserve r12.0 for Windows Agent for SharePoint Portal	トライアル(未登録)
CA ARCserve r12.0 for Windows Disaster Recovery Option	ライセンス取得済み
CA ARCserve r12.0 for Windows Enterprise Option for SAP R/3 f...	トライアル(未登録)
CA ARCserve r12.0 for Windows NDMP NAS Option	トライアル(未登録)

ライセンス キー:

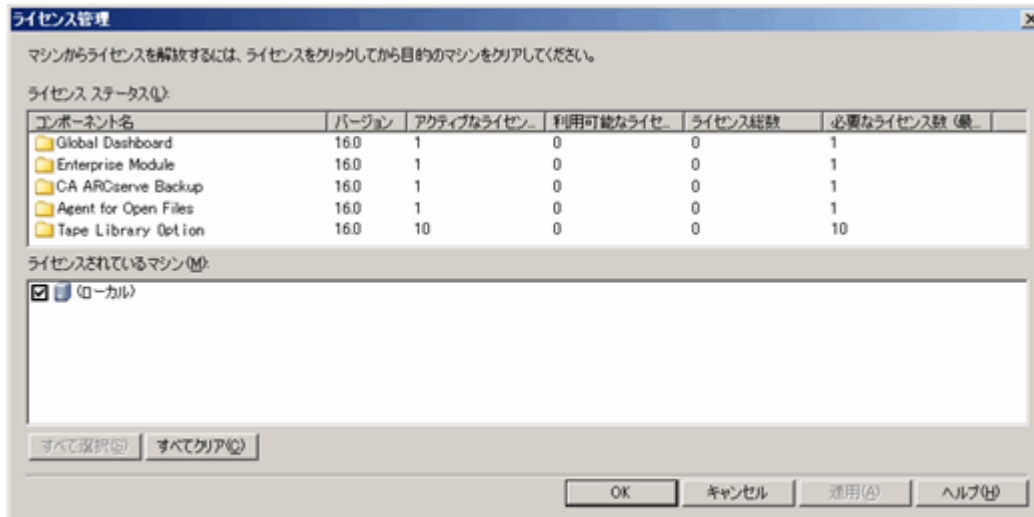
ライセンス キー	登録済み
12345-67890-ABCDE-FGHIJ-KLMNO	いいえ

トライアル版を使用(Y):
 ライセンス キーを使用(K):

5. ライセンスの管理画面について

5-1 ライセンス管理画面の説明

ヘルプメニューから[バージョン情報]を選択し、[ライセンス管理] ボタンをクリックします。
[ライセンス管理]では実際に割り当てられたライセンス状況を確認することができます。



バージョン -- コンポーネントのリリースが表示されます。

アクティブなライセンス数 -- コンポーネント用に現在アクティブな数ライセンス(ライセンスが割り当てられている数)が表示されます。
※合計には適用済みライセンスとトライアルライセンスが含まれます。

利用可能なライセンス数 -- コンポーネントを使用するために利用可能なライセンスの数が表示されます。合計には適用済みライセンスの総数から未割当のライセンス数が表示されます。

ライセンス総数 -- コンポーネント用に適用済みライセンスの総数が表示されます。

必要なライセンス数 -- コンポーネントを使用するために不足しているライセンスの数が表示されます。

5-2 ライセンスの解放について

[ライセンスされているマシン]の項目では、選択されたコンポーネントに、ライセンスが割り当てられている(アクティブとなっている)マシンを確認することができます。

マシン名のチェックボックスを外すと、割り当てが解除され、利用可能なライセンスに戻ります。(トライアル利用の場合は数値は変わりません)

JOB の実行など、ライセンス要求が発生したタイミングで先着順に利用可能なライセンスからアクティブライセンスとして割り当てられます。

※ ライセンス登録直後や[すべてクリア]を実行すると、ライセンス要求が発生するまで、該当コンポーネント名はリストに表示されません。

ライセンスの登録状況を確認頂く場合は、[\[4-1 登録済みの製品・ライセンス数を確認する方法\]](#)をご確認ください。

6. 顧客登録

顧客登録は現在行っておりません。登録は不要となります。

※ 製品のインストールが完了すると、下記の登録画面が表示されますので [今後、このメッセージを表示しない] をチェックし、[続行] をクリックしてください。

※ あとで登録を選んだ場合、指定した日数が経過すると、下記の登録画面が再び表示されます。

